

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 イハラサイエンス株式会社
 コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野琢雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 岩本純彦

TEL 03-6721-6988

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,051	5.8	729	29.4	724	40.8	441	36.2
25年3月期第2四半期	4,776	△9.0	564	△23.8	514	△25.6	324	△21.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 455百万円 (44.2%) 25年3月期第2四半期 315百万円 (△21.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	37.79	—
25年3月期第2四半期	27.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	14,065	9,244	65.7	791.39
25年3月期	13,687	8,964	65.5	767.38

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 9,244百万円 25年3月期 8,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	15.00	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	9.2	1,540	30.1	1,500	25.4	930	22.3	79.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	14,000,000 株	25年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,318,692 株	25年3月期	2,318,681 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	11,681,314 株	25年3月期2Q	11,681,332 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、マイナス成長が続いていた欧州が持ち直しに向かい、米国経済は穏やかな回復基調が続く一方、新興国の一部には減速の動きが見られております。また、国内経済は、円安効果による輸出の持ち直し、生産の増加や企業収益の改善に加え、個人消費も底堅く推移し、景気は回復基調にあります。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、お客様の期待と信頼を獲得するため、社員一人一人が自分の責任を果たし、品質、スピード、実行にこだわり、グローバルな競争の中で、品質、価格ともに、どの国にも負けない競争優位の体制作りを進めてまいります。

販売面では、当社グループの主な市場である工作機械、産業機械、建設機械市場におきましては、国内需要が堅調に推移しておりますが、前年同期の売上高をやや下回る結果となりました。また半導体、液晶製造装置関連市場におきましては設備投資に前向きな傾向が見られ、市況がやや戻り受注も回復基調にあります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は50億51百万円（前年同期比5.8%増）となり、営業利益は7億29百万円（前年同期比29.4%増）、経常利益は7億24百万円（前年同期比40.8%増）、四半期純利益は4億41百万円（前年同期比36.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下4事業所を報告セグメントとしております。

（静岡事業所）

半導体及び液晶製造装置関連市場向けのクリーンなバルブ、配管ユニット等を生産しており、半導体・液晶関連製造メーカーからの受注が回復し、売上高は9億72百万円（前年同期比19.4%増）、セグメント利益は2億48百万円（同49.6%増）となりました。

（岐阜事業所）

一般産業の油空圧配管用の継手、バルブ等を生産しておりますが、重点市場である建設機械・工作機械市場向けは、やや設備投資が鈍化し、売上高は20億20百万円（前年同期比8.6%減）、セグメント利益は8億31百万円（同11.9%減）となりました。

（山形事業所）

半導体及び液晶製造装置関連、さらに分析・各種計装及び食品・パワープラント・化学市場に向けての継手、バルブ等を生産しており、半導体・液晶関連製造メーカーからの受注が増加し、売上高は15億91百万円（前年同期比28.4%増）、セグメント利益は4億77百万円（同54.3%増）となりました。

（IPEC岐阜事業所）

流体別・用途別に最適な配管システムを提供することを目標にロング継手、カセット生産、配管設計・施工を行っており、建設機械関連の受注にやや陰りがみえ、売上高は5億69百万円（前年同期比14.2%減）、セグメント利益は1億12百万円（同22.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローで5億40百万円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローで1億50百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローで5億30百万円のマイナスとなりました。この結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末より1億43百万円減少し49億18百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は5億40百万円（前年同期は10億4百万円のプラス）でありました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上7億24百万円、賞与引当金の増加による2億55百万円の増加、仕入債務の増加による82百万円の増加、売上債権の増加による3億2百万円の減少、たな卸資産の増加による37百万円減少等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は1億50百万円（前年同期は2億14百万円の支出）となりました。この主な要因は持分法適用関連子会社への出資による81百万円、有形固定資産の取得による57百万円でありました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は5億30百万円（前年同期は6億35百万円の支出）でありました。この主な要因は、社債の償還による1億50百万円、長期借入金の返済による1億74百万円、配当金の支払いによる1億73百万円でありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表した予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,062	4,918
受取手形及び売掛金	2,003	2,306
商品及び製品	351	357
仕掛品	347	348
原材料及び貯蔵品	662	693
繰延税金資産	98	213
その他	98	155
流動資産合計	8,625	8,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,586	1,541
機械装置及び運搬具（純額）	507	507
土地	1,420	1,420
建設仮勘定	133	116
その他（純額）	51	45
有形固定資産合計	3,700	3,631
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	606	690
長期貸付金	2	2
生命保険積立金	77	82
繰延税金資産	512	506
その他	47	47
貸倒引当金	△0	△2
投資その他の資産合計	1,245	1,326
固定資産合計	5,062	5,072
資産合計	13,687	14,065

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	335	418
1年内償還予定の社債	300	200
短期借入金	399	366
未払金	184	153
未払法人税等	236	389
賞与引当金	—	255
その他	94	91
流動負債合計	1,551	1,874
固定負債		
社債	50	—
長期借入金	1,241	1,067
退職給付引当金	1,472	1,468
役員退職慰労引当金	183	194
資産除去債務	54	54
長期預り保証金	170	161
固定負債合計	3,172	2,947
負債合計	4,723	4,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	618
利益剰余金	8,511	8,778
自己株式	△1,742	△1,742
株主資本合計	8,951	9,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	7
為替換算調整勘定	4	19
その他の包括利益累計額合計	12	26
純資産合計	8,964	9,244
負債純資産合計	13,687	14,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	4,776	5,051
売上原価	3,405	3,485
売上総利益	1,370	1,566
販売費及び一般管理費	806	836
営業利益	564	729
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	2
為替差益	—	18
仕入割引	0	—
その他	4	6
営業外収益合計	5	27
営業外費用		
支払利息	12	8
為替差損	25	—
売上債権売却損	6	5
複合金融商品評価損	—	8
売上割引	0	0
持分法による投資損失	—	6
その他	11	4
営業外費用合計	56	33
経常利益	514	724
特別損失		
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	2	—
税金等調整前四半期純利益	511	724
法人税、住民税及び事業税	267	390
法人税等調整額	△79	△108
法人税等合計	187	282
少数株主損益調整前四半期純利益	324	441
四半期純利益	324	441

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	324	441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	14
その他の包括利益合計	△8	14
四半期包括利益	315	455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	315	455

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	511	724
減価償却費	138	132
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△18	△4
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10	10
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	204	255
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	1
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	—
複合金融商品評価損益 (△は益)	—	8
受取利息及び受取配当金	△1	△2
支払利息	12	8
為替差損益 (△は益)	8	2
売上債権の増減額 (△は増加)	308	△302
たな卸資産の増減額 (△は増加)	21	△37
仕入債務の増減額 (△は減少)	△112	82
未払金の増減額 (△は減少)	△36	△31
その他	80	△60
小計	1,094	788
利息及び配当金の受取額	1	2
利息の支払額	△14	△8
法人税等の支払額	△77	△241
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,004	540
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△186	△57
無形固定資産の取得による支出	△14	△4
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
保険積立金の積立による支出	△5	△5
子会社株式の取得による支出	△28	△81
その他	22	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30	△33
長期借入金の返済による支出	△181	△174
社債の償還による支出	△250	△150
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△173	△173
財務活動によるキャッシュ・フロー	△635	△530
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	144	△143
現金及び現金同等物の期首残高	5,554	5,062
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,699	4,918

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	747	1,949	1,170	638	4,505	270	4,776
セグメント間の内部売上高又は振替高	67	261	70	24	423	1	424
計	814	2,210	1,240	663	4,928	272	5,200
セグメント利益	166	942	309	145	1,563	61	1,625

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない販売子会社における商品売上、及び不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,563
「その他」の区分の利益	61
セグメント間取引消去	△324
全社費用(注)	△720
棚卸資産の調整額	△16
四半期連結損益計算書の営業利益	564

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	901	1,800	1,512	547	4,763	288	5,051
セグメント間の内部売上高又は振替高	70	219	78	21	390	2	392
計	972	2,020	1,591	569	5,154	290	5,444
セグメント利益	248	831	477	112	1,669	70	1,740

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない販売子会社における商品売上、及び不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,669
「その他」の区分の利益	70
セグメント間取引消去	△271
全社費用（注）	△740
棚卸資産の調整額	2
四半期連結損益計算書の営業利益	729

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。